



# 爆発的感染者増、すべきは街頭PCR検査

年初め、四都県の知事の「緊急事態宣言」発出要請に、政府の動きは遅かった。全国の感染者七千五百人超の七日にやっと諮問委員会。緊急事態宣言を發出。自分の出した方針、首相は何を聞かれても答えられる筈。しかし、国会の質疑に応じない。これでは方針の意味が深められない。

問題とは保菌者 飲食店の短縮営業で人と人の接触は減るが、非感染者同士の接触を減らしただけでは意味がない。問題は保菌者(無症状の感染者)が他の人と接触すること。だから保菌者の発見、隔離、治療が大切。ニューヨーク並に街角でPCR検査すべきだ。日本のPCR検査数は世界一五八位。菅首相も安倍前首相同様PCR検査を増やすと云うが、中々増えていない。

対策の為の予算 コロナで医療関係者は皆、減収。この補償は急務だが、菅首相は向き合おうともしない。それどころか、以前の公立病院統廃合、ベッド数削減の方針は維持。これでは国民の健康は守れない。財源はある。菅氏は官房長官当時、官房機密費を一日平均三百万円支出。使い道の報告無し。これを止める。辺野古基地建設、F35、イージス等の軍事費は、中国、北朝鮮との外交で平和を守れば不要。配当等への分離課税を総合課税にして年収何億もの大金持ちに自分の負担を願えば良い。あなたはどうか?

六ツ川通り 横浜市南区六ツ川 二〇二〇年十二月



平戸桜木道路、通称六ツ川街道のこの辺りは京急弘明寺駅に近く、人通りも多い。その一隅にカフェ宙豆がある。この場所には以前コーヒーを売る店があった。高齢で店を畳まれた。その後、空港に関するお仕事をしていたと云うご夫婦がお店を引き継いだ。お店には精緻な空港の模型がある。お隣は「スナック歩」シャッターが閉まっていたが、よく見ると「県のとて」の要請で一月十一日まで閉める」とある。緊急事態宣言でどうなるのだろうか。その隣は「濱ゆう」。更に隣はショットバー「LOOP」。この周辺には同じような小さなお店が沢山ある。どの店も、夜遅くてもそれなりにお客が入っていた。緊急事態宣言でどうなるか心配だ。

山下 徹

